

## 大和郡山市子ども・子育て支援事業計画（第二期）（素案）に対するパブリックコメントの結果について

提出人数 36名

提出件数 53件

NO	関連部分	意見の要旨	件数	ページ
1	教育・保育の状況	潜在待機児童が多くいる現状を記述したうえで、待機児童の解消を目指すことを記載いただきたい。	1	10, 67
2	子ども・子育て支援事業の事業実績	1～3年生は年々増加、4～6年生は平成30年度において大幅に増えていることについて、利用される理由なども分析し、わかる範囲で記載いただきたい。	1	15
3	親子のための遊び場や施設の整備	子どもの遊び場の設置 ①ボール遊びや自転車に乗れるなど、子どもたちがのびのび遊べる公園・空間の設置。 ②平日だけでなく、学校などを開放して安全に遊べる空間がほしい。	2	23, 34, 59
4	子どもの人権の尊重	人権の尊重の項にジェンダー平等についての記述があってもいいのではないか。	1	56
5	出産・育児相談の充実	心理判定員の設置 ①心理判定員の常駐など具体的施策を示し、方向性を継続ではなく充実へと変えるべき。 ②正規職員として常勤の心理判定員を置き、現場と連携していけるようにしていただきたい。	2	61
6	小児医療の充実	かかりつけ医としての小児科の数を増やす施策が必要。小児科開業の補助や斡旋などをしていただきたい。	1	61
7	子育てに関する相談・支援体制の充実	子どもを連れて集まれる場所の提供や情報の開示方法をわかりやすくしてほしい。	1	62, 63

NO	関連部分	意見の要旨	件数	ページ
8	障害のある子どもがいる家庭への支援の充実	<p>①支援員の不足と療育手帳の発行手続きに時間がかかることを改善してほしい。</p> <p>②発達障害のある子どもへの支援の具体的な施策を追記すべき。</p>	2	63
9	子育てに対する経済的支援	<p>子ども医療費について</p> <p>①子ども医療費の無償化と現物給付の対象拡大を進めるべき。</p> <p>②市単独で医療費助成をさらに進めていただきたい。</p>	2	64
10	保育環境の整備（認定こども園）	<p>認定こども園について</p> <p>①認定こども園の課題やあり方、方針を明確にし、どのようにこれからの教育・保育の充実を図っていくのかを示していただきたい。</p> <p>②「幼保一体化を推進します」の文言を削除し、「地域・保護者・保育現場などの意見も聞きながら慎重に進めていきます」もしくはこれと同意の文章に変更していただきたい。</p> <p>③幼稚園・保育園の存続や充実について記載いただきたい。</p>	7	66
11	保育環境の整備（保育士の確保）	<p>保育士の確保について</p> <p>①保育士の正規職員を確保すべき。</p> <p>②保育士の確保を重要課題として、保育士の処遇改善（低賃金、業務量等の改善）を進めていただきたい。</p> <p>③本当に人が足りていない現状をもっと重く受け止めてほしい。</p> <p>④資質向上、研修の充実のためには、職員体制の確保が必要であり、「職員数、保育定数を見直すなど」という一文を入れていただきたい。</p>	11	66
12	地域で担う子育て支援体制の充実	<p>どの子、保護者も公平に子育て支援を受けられるよう、各園に子育て支援担当者を置くことを希望する。5年間の努力目標としてでも記載いただきたい。</p>	1	69
13	特色ある教育の創造	<p>現在議論されている「学校の適正化問題」について、統廃合ありきではなく、少人数学級の充実を図るべき。</p>	1	70, 71

NO	関連部分	意見の要旨	件数	ページ
14	就学前教育の充実	保育園でも大和郡山市の幼児教育の充実を図るための取り組みをしてきている。「幼稚園、保育園、認定こども園が…」としていただきたい。	2	70
15	子どもの教育相談・支援体制の充実	スクールソーシャルワーカーの配置を進めることも併記すべきではないか。	1	71
16	子どもの活動の場の整備	<p>学童保育所の運営、量の確保、質の向上</p> <p>①市直営で運営することなどの検討をいただきたい。</p> <p>②学童の親の負担を減らしてほしい。</p> <p>③運営方法は民間に委ね、少しでも子育て世代に協力的な自治体にすべき。</p> <p>④市として、「学童保育所の運営に責任をもち、充実を図る」旨を記述いただきたい。</p> <p>⑤学童保育所の施設数の増加と必要なところから早急に対応策を実施することの記載。</p> <p>⑥子どもが思う存分身体を動かして遊べる運動場等、十分なスペースの確保。</p> <p>⑦指導員の確保。</p> <p>⑧指導員の質の向上、子どもの悩みに真摯に付き合ってくれる指導員の育成を望む。</p> <p>⑨自ら考え工夫できる教材やしっかりと身体を動かしたり、物づくりをするなどの内容の充実。</p> <p>⑩高学年になっても、せめて長期休みだけでも利用できるようにしてほしい。</p>	9	72
17	事業の実施目標	<p>①保育園でも教育を実施しており、認定区分において、「学校教育を希望」の提供施設が「幼稚園」「認定こども園」のみとなっている記述を改めていただきたい。</p> <p>②2号認定は「保育の必要性あり」の表記でよい。</p> <p>③0歳児は年度の途中で生まれる子どもも対象となっていることから、年度末の数値を検証すべきである。</p> <p>④一貫性を欠く数値の掲載はしっかりと見直しを行ってほしい。</p>	8	84, 77, 78

NO	関連部分	意見の要旨	件数	ページ
		<p>⑤現行の認定こども園の課題の検討を十分にできるよう、また、課題を踏まえた計画の策定をお願いします。</p> <p>⑥正規職員を増やし、0・1・2歳の待機児童解消に向けて取り組むべき。確保方策の中に具体的な記述を求める。</p> <p>⑦確保の考え方の項目等に、郡山保育園の増築について前向きに記載いただきたい。</p> <p>⑧ファミリー・サポート・センター事業に就学前こどもの見込み量を記載すべき。</p>		